

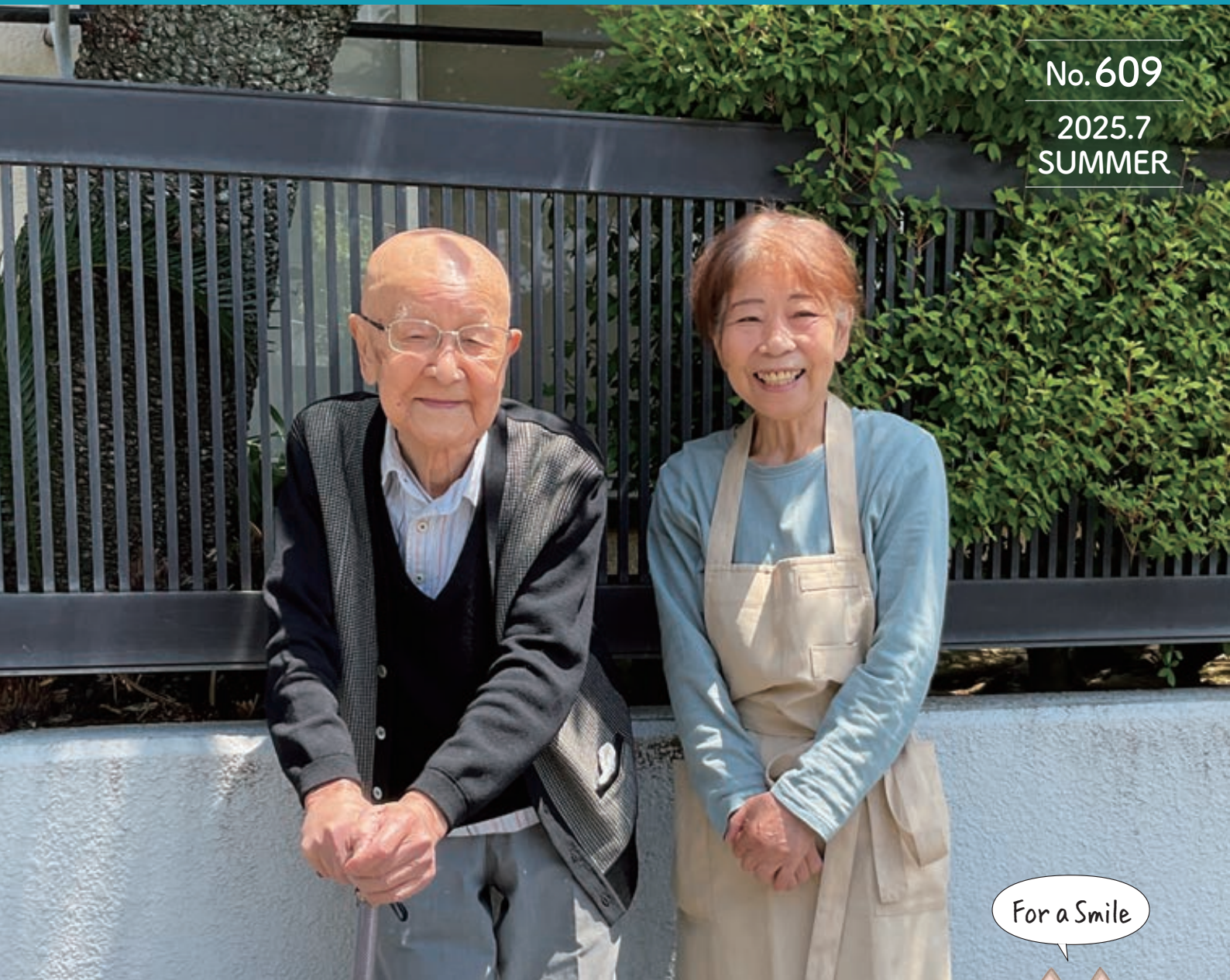
川崎の社会福祉

あなたの「やってみたい!」を応援する広報誌



No.609

2025.7
SUMMER



For a Smile



川崎市社協キャラクター
ななふく

おたがいさまで支える「未来」

特集

社協だからこそできる“地域に根差した”ケアを
訪問介護のお仕事



川崎市社会福祉協議会(通称:川崎市社協)

LINE
おともだち
募集中!





社協だからこそできる“地域に根差した”ケアを

訪問介護のお仕事

私たち川崎市社会福祉協議会は、市内6か所で訪問介護事業所を運営中。地域とのつながりを大切に、利用者さん一人ひとりの暮らしを全力でサポートしています。

ホームヘルパーってどんな仕事？

ある日の訪問風景



おしえて！ 社協のヘルパー業務

——はたらき方やお仕事内容を教えてください

今は週2回、午前中だけシフトに入っています。

利用者さんによってサービス内容は異なりますが、本日訪問した山口さんは外出が難しいため、買い物代行為主なお仕事ですね。

——ヘルパーの仕事をはじめたきっかけは？

以前は立ち仕事をしていたのですが、体力的につらくなってきて。でも、ヘルパーなら1軒のみの訪問など短時間からはたらけますし、普段の家事の延長上だと思えば気楽にはじめられました。

最初の頃は利用者さん宅へ伺うたびにドキドキしていましたが、だんだん慣れてくるにつれ、皆さんが私の訪問を楽しみにしてくれているのを感じられて嬉しいです。

——職場のようすはいかがですか？

事業所内のフォロー体制が整っているから、急なお休みにも快く対応してくれ、気を使わずに済んでいます。これならもっとはたらけそうと思って、シフトを週3に増やしてもらおう予定なんです。

家の外に出てはたらくことは自分の気晴らしにもなっているし、元気でいられるうちはヘルパーを続けていきたいです！

高齢者にとってのヘルパーとは

「住み慣れたわが家で暮らしつづけたい」そんな夢をお手伝いする訪問介護

社協の訪問介護のほか、訪問リハビリなどの福祉サービスを利用しながら、92歳になる現在もひとり暮らしを続ける山口さん。「自分のことは自分で」の精神で家事全般をこなすパワフルな方です。

けれど、加齢や不調により困難に感じる生活活動があるのも事実。その困りごとをヘルパーが支えることで、「愛着ある自宅で暮らしつづける」という山口さんの願いをサポートしています。

サービス提供責任者とも仲良し！



数字で見る

利用件数 **7,500件**

社協の訪問介護サービス利用件数は……年間なんと7,500件以上！これは、市内で提供される全訪問介護件数の5%に当たります。こんなに大勢の要介護高齢者を社協が支えているんですね。

※令和4年度の数値

ヘルパー数 **346人**

現在、346名ものヘルパーさんが社協の事業所で活躍中！

ケア未経験者からベテランさんまで、たくさんの仲間たちが安心・安全な介護を提供しています。

離職率 **5.4%**

「すぐに人が辞めてしまう」といわれる介護の世界。けれど、介護職の全国平均離職率14.4%に対し、社協の訪問介護事業所ではわずか5%台に留まっています。

めざせ、はたらきやすい職場づくり！

……みんなで地域を支えませんか……

あなたのチカラを求めています

市社協で**ホームヘルパー**になりませんか？

事業所は市内6ヶ所！ご自宅の近くではたらけます！

経験豊かなヘルパーが丁寧に指導します。

川崎市社協の訪問介護事業所は、一緒に働く仲間を募集中！無資格の方もご相談ください。週1日1時間からの勤務も可能です。

詳しくは二次元コードから採用HPをご覧ください。

高年齢者ケアのはじめの一歩！

かわさき暮らしサポーター

洗濯や掃除など、高齢者宅でちょっとした家事手伝いをするお仕事です。介護の世界に飛び込む最初の一歩にぴったり！

まずは研修会へ参加！

●日時: **7月24日(木)**
10:00～16:45

●会場: **パルかわさき**

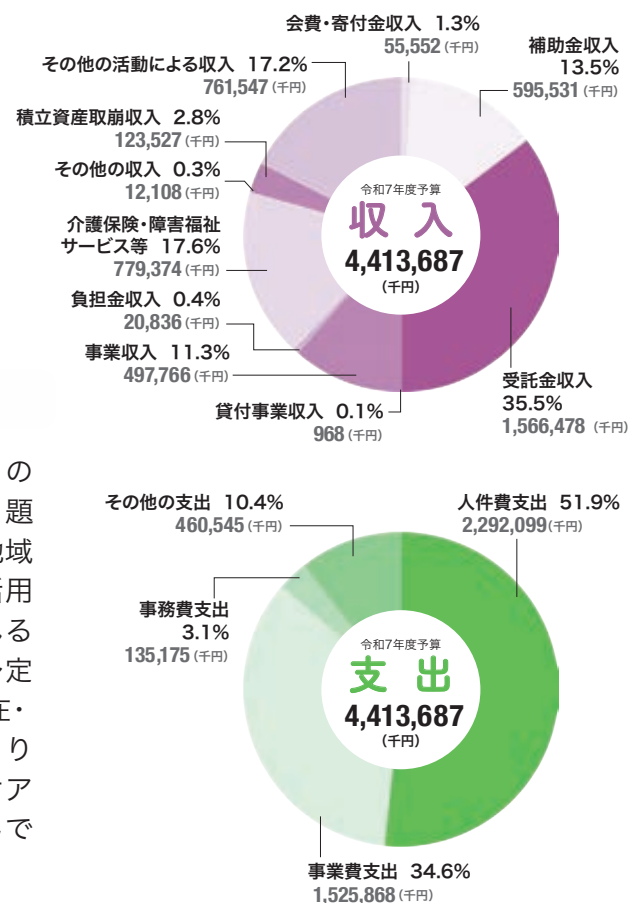
9/16 パルみやまえ
11/12 パルたまでも開催予定！

令和7年度 事業計画・予算

が決まりました

基本方針

68万人という過去最低の出生数を記録した令和6年。この超少子高齢化をはじめとするさまざまな社会課題は、私たちの住む川崎市にも大きな影響を与えています。地域課題の解決を使命とする市社協では、シニアがデジタルを活用することで楽しみを見出しながら自らの人生を豊かに送れるよう、民間企業や研究機関と連携した新規事業スタートを予定しています。各区社協は住民主体の課題解決を行う中心的存在・地区社協の活動支援を強化し、住民自身による福祉の地域づくりを目指します。パートナーである川崎市とともに「地域包括ケアシステム」の構築、そして「地域共生社会」の実現に取り組んでまいります。



かわさきの福祉をささえる 4 つの柱

1 地域包括 ケアシステムの推進

全ての社協会員が一丸となるのはもちろん、行政と強固なパートナーシップのもと、川崎市の地ケア構築をさらに推進します。



2 組織経営基盤の強化

経営健全化に向け、すべての事業・予算を見直し、自主財源の確保のため新たな事業展開を行います。



終活サービスなど、社会のニーズに合わせた新事業を展開

3 災害にそなえた 地域防災力の向上

東海地震や首都直下型地震など大規模災害を想定し、さまざまな地域資源や住民との連携を図り、平時から災害に備えます。



災害ボランティアセンターの運営訓練

4 PickUp! 生活困窮者への 支援

生活困窮が継続し生活福祉資金特例貸付の償還免除となった方、生活困窮者自立支援金の利用者および償還が難しい生活環境にある方など、生活困窮の状況が継続している方々に対し、専門機関との連携のもと、訪問等により生活再建を図る支援を行います。

こちらもチェック！

「生活再建支援室」がサポート

コロナ禍の3年間で、約4万8千件の特例貸付の申請がありました。一昨年より貸付の償還が始まりましたが、返済が滞っている・生活再建のめどが立たない人も大勢います。生活再建支援室では、困りごとを抱える借受者に向けてアウトリーチによる支援を展開しています。

支援員による
フォローアップ体制

定期的な連絡で
顔の見えるサポートを



川崎市社会福祉協議会が取り組む

地域の担い手づくり

誰もが住み慣れたまちで幸せに暮らすため、あなたの力・経験を地域で活かしてほしい。私たち川崎市社協は、あなたらしい地域活動を一緒に考えます。

何から始めればいいのか
分からないあなたに



講師はボランティアとして
活躍中の地域の方々と

ボランティア養成講座

「ボランティアをしてみたい！でも私には何ができるかな？」そんな方を対象に、講座やイベントを通して活動を始めるきっかけづくりを創出しています。

お年寄りが元氣なまち
にしたい！あなたに

高齢者会食会

地区社協など地域住民が主体となって、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみ世帯を対象に会食会を実施しています。高齢者の孤独感解消や生きがいづくりをお手伝いして、まち全体を元気にしよう！



食事の提供だけでなく
体操や健康指導も

地域のことをもっと
知りたい！子どもたちに



夏休みの
自由研究テーマにも

夏休み福祉・チャレンジボランティア体験学習 「チャレボラ」

毎年夏休みに、小学生～大学生対象のさまざまな体験プログラムを実施しています。乳幼児・高齢者・障がいのある方との交流や、まちの環境保全、居場所づくりなど、その数なんと50種以上！

詳しくは
こちら



お茶やおしゃべりが
大好きなあなたに

コミュニティカフェ

地域住民が主体となって運営するコミュニティカフェは、みんなが参加できるまちの居場所。社協では、研修や活動者同士の情報交換会を実施し、カフェ立ち上げから継続した運営までサポートしています。



おしゃべりの他、健康や
趣味、様々な活動が！

家事ならまかせて！
というあなたに



暮らしサポ講座の日程は
3面をご覧ください

暮らしサポ

(かわさき暮らしサポーター)

地域で暮らす高齢者を“ちょこっと”支援する、通称「暮らしサポ」。洗濯やそうじ、食事の支度など、ちょっとしたお手伝いを通して高齢者の暮らしを支える家事援助サービスの担い手です。

困った時に助け合えるまち
が理想！というあなたに

災害ボランティア講座

地震や水害などの被災地の復旧・復興には、ボランティアの存在が欠かせません。災害時にも支え合える地域づくりに取り組む社協では、担い手である災害ボランティアの活動をサポートしています。



発災時をシミュレーション
する災ボラ研修会

もっと
詳しく！
こちらをチェック



▶ ボラナビ2025

市内のボランティア情報をまとめた一冊。活動の受け入れをしている施設・団体等の情報が掲載されています。



▶ 市社協ボランティア専用ページ

講座開講のお知らせや助成金情報まで、ボランティア活動の最新トピックスを発信しています。



・EVENT・ 夏休み、被災地にあなたの力を

高校生・大学生対象

災害ボランティアバス in能登半島 参加者募集のお知らせ

2024年1月の大地震発生から1年半が過ぎた今も、災害のつめ跡が残る能登半島。川崎市社協では、市内高校生・大学生を対象とした「災害ボランティアバス」を実施します。若い世代が被災地の現状を知り、自分たちのまちの防災について考える機会を創出します。

- 実施日：2025年7月28日(月)～30日(水)
※7月21日(月・祝)午後に事前オリエンテーションあり
※看護師が同行します
- 予定参加費：5,000円(税込)
※宿泊費(2泊)・食事代(朝食2回、昼食1回、夕食2回)・行き帰りの飛行機、新幹線代・現地でのバス移動費を含む
- 対象：市内在住・在学の高校生および大学生
※高校生の参加には保護者の同意が必要です

詳細/申し込み

内容などの詳細、申し込み方法等は公式SNSをご覧ください



LINE



インスタ

問合せ

ボランティア活動振興センター
TEL 044-739-8718

被災現場の視察や金沢の学生たちとの交流会も



活動レポート
詳細はこちら



今年の活動の様子

2024年夏にもボランティアバスを実施。被災した子どもたちのストレス解消を目指し、現地で「夏まつり」を企画・開催しました。



2011年東日本大震災、2017年関東・東北豪雨に係る常総市洪水災害でも、ボランティアバスの運行を計7回実施。学生をはじめ、約320人が現地でさまざまな支援活動を行いました。

見て!知って!
考えよう!



・EVENT・ 夏休み企画

参加費無料

みんな集まれ! ドローン体験交流会

毎年大人気のイベントが今年もやってくる! トイドロローンを使ったいろんなゲームと一緒に楽しみましょう。保護者ペアで参加できる回も開催します。

- 日時：7月29日(火)
① 9:30～10:30
② 11:30～12:30
③ 14:00～15:00
- 対象：①②小学3年生以上
③小学1年生以上の子どもと保護者のペア
※いずれも川崎市在住・在勤・在学の方
- 会場：エポックなかはら7階
JR南武線「武蔵中原」駅直結
- 定員：①②各回10名 ③保護者ペア10組
※定員を超えた場合は抽選

申し込み
フォーム

※切：7月15日(火)10時



問合せ
福祉人材バンク
TEL 044-739-8726

手のひらサイズの
ドローンを飛ばそう



ドローン体験で なにが学べる?

いま注目の3つの力を
楽しく身につけよう

- 創造性 単純な組み合わせでゲームを多岐に考えられる!
- 空間把握力 限られた空間の中をコントロール!
- コミュニケーション力 ネットやテレビゲームにはないリアルな交流!



インストラクターが丁寧に指導。
低学年の子も安心です。

ドローンファイトの
動画はこちら



・STUDY・ 福祉の世界で働きたい!

これで安心! まるわかり介護基礎研修 (無資格で就労するには必須となる「認知症介護基礎研修」込み)

介護未経験、無資格の方、介護職に就職希望の方必見! 介護について基礎から学びます。接遇マナーから口腔ケア、レクリエーション、移動・移乗技術など、実践に役立つ基礎知識・基本技術の研修です。

- 日時：令和7年10月1日(水)～11月12日(水) (うち7日間)
9:00～16:00
※最終日のみ9:00～16:30
- 会場：総合研修センター(川崎駅徒歩15分)
- 定員：18名(※先着順)
- 対象：市内介護福祉施設等に就労中の方
今後、就労予定の方
- 受講料：無料
※「認知症介護基礎研修」を受講される方は4,000円(税込)



※切：9月12日(金) 詳しくはこちら



問合せ TEL 044-223-6509 (火～土 8:30～17:00)

・JOB・ いきいきと働ける福祉のお仕事を探ませんか

令和7年度 福祉のお仕事 夏の就職相談会 in川崎

川崎市内の福祉(高齢者・障害者・児童等の各種分野)と保育所等を運営する法人約40団体が集まる就職相談会です。介護職や保育士以外の職種(介護補助・保育補助・看護師・栄養士・事務等)の求人もあり、福祉・保育施設等でのお仕事に関心がある方ならどなたでも大歓迎!

- 日時：8月22日(金) 13:00～16:00
- 場所：川崎市総合福祉センター
(エポックなかはら)
7階 大会議室、第1・2・3会議室

詳しくは
こちら

<http://kawasaki-jinzaibank.jp/>



履歴書不要。
服装自由・資格不問!
来場者にはバレンタインの
プレゼントがあるよ!



・BOOK・ 地域福祉情報バンクのおすすめ図書!

「つながり」と「笑顔」のためにできること

福祉施設の理事長である著者が、福祉施設を単なる「支援の場」ではなく、「人と人とが自然につながる場所」へと変えてきた実践を綴った一冊。

「おたがいさまで笑顔がいっぱい」という理念のもとで行われる、ユニークで温かな取り組みの数々が紹介されています。

子ども食堂や多世代カフェ、マルシェの開催、FMラジオスタジオの開設、大学生と高齢者の同居、赤ちゃん職員の採用、さらには職員の子連れ出勤や、おばあちゃん連れ出勤等々。

世代や分野を超えて、誰もが役割や生きがいを持ち、支え合う「地域共生社会」を実現するためのヒントが詰まっています。

地域福祉情報バンクで貸出しています
(エポックなかはら6階)

蔵書検索は
「ふくみ」で!



TEL : 044-739-8720 MAIL : jyoho@csk-kawasaki.or.jp

地域共生社会に関する
特集はこちら



福祉施設からはじまる
多世代ごちゃまぜ
地域共生社会

著者：権頭 喜美恵
発行：幻冬舎メディアコンサル
ティング
2024年発行

EVENT 夏休み企画

よしもとスポーツ Let's レクリエーション

お子さんからシニアまで安心して楽しめるレクリエーションを教わります。

いろいろな場所ですぐに活用できるものばかり。笑って！学んで！地域のつながりに活かしてみませんか？

- 日時：7月31日(木)
13:30～15:30
- 会場：エポックなかはら7階
※JR南武線「武蔵中原」駅直結
- 定員：50名(定員を超えた場合は抽選)
- 対象：市内在住・在勤・在学の小学生から大人まで
※小学1・2年生は保護者と一緒にご参加ください

申込みフォーム

※切：
7月10日(木)
10時



問合せ 福祉人材バンク
TEL 044-739-8726

寄付御礼

令和7年3月1日～5月31日受領分

川崎市社会福祉協議会の地域福祉活動へのご寄付

公益社団法人川崎北法人会 様
川崎市地域女性連絡協議会 様
株式会社 大塚商会 様
中里 眞沙子 様
鈴木 實枝子 様
株式会社ナクール 様
株式会社サンコウ電子研究所 様
日本ハムマーケティング株式会社 様
東急リゾーツ&ステイ・
石勝エクステリア共同事業体
川崎国際生田緑地ゴルフ場 様

あたにかい
ご寄付、ありがとう
ございました



町内会・
自治会と
一緒に！

自分のまちをもっと楽しく、もっと便利に 地域活性化支援アプリ

「まちくるみ」中原区で実証実験中！

川崎市の地域活性化を目指す川崎市社協とNECは、市民の毎日の生活をサポートするスマホアプリ「まちくるみ」を共同開発しました。アプリ内で町内会・自治会の情報を閲覧できるほか、地元の商店街で使えるクーポンを入手できるなど、自分のまちをもっと好きになるためのコンテンツが盛りだくさんです。

シニア世代も使いやすいカンタン仕様だから、気軽にインストール！

※中原区以外の方もインストールできます

「まちくるみ」の便利な機能

町内会・自治会
のお知らせ、
イベント情報

中原区役所
などの
地域情報

中原区内で
使えるクーポン
をお届け

毎月1日に
ポイント
配布

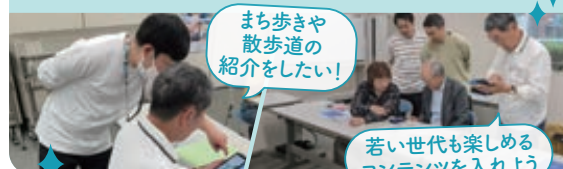
町会活動に参加しよう！

毎日の暮らしにお役立ち！

アプリの
満足度向上
に向けて

川崎市全町内会連合会の協力のもと、中原区にてアプリの実証実験を展開しています。

町内会の皆さんとコンテンツ会議中！



まち歩きや
散歩道の
紹介をしたい！

若い世代も楽しめる
コンテンツを入れよう

アプリの ダウンロードはこちら



ストアアプリで検索
まちくるみ 検索

または

二次元コードから
ダウンロード！

